

児童生徒の求めていることに関心をもっていますか？

まだまだ改善の余地ある！ **緊急速報**

愛媛の生徒指導
2012年3月 第44号

編集発行/愛媛県教育研究協議会生徒指導委員会委員長 二宮 秀秋
発行/愛媛県教育研究協議会生徒指導委員会

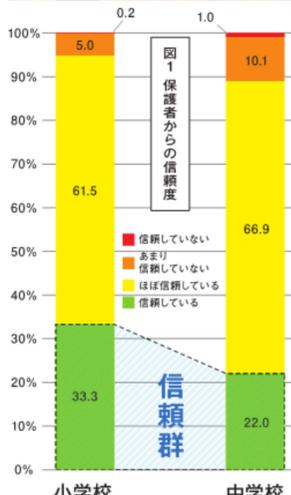


「預けの身」の子は、学校の面うちは学校が大好きなんです。でも、もしうちの子に何かあった時は、学校はきちんと対応・解決してくれるのでしょうか……。

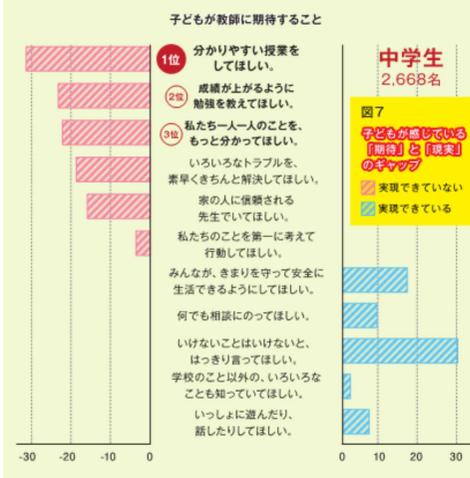
「信頼している」に変える!!

愛媛の保護者4,943人にアンケート

2面 保護者の視点 3面 信頼されるために 4面 子どものギャップ



信頼群の維持・拡大が課題
図1. 学校を信頼している保護者は、ほぼ信頼している保護者を含めると、小学校で94.8%、中学校で88.9%という結果でした。一方、不信感を抱いている保護者は、小学校で5.2%程度、中学校で10.1%程度です。



大きなギャップ!!



先生、もっと見てほしいです。

子どもの願いをくみ取りつつ
図6及び図7は、児童生徒を対象調査の結果の一部です。小学生2,880名、中学生2,668名の回答を得ました。教員に対する期待(してほしい)と現実(実現できている)のギャップが認められています。中学生は、1分かかる授業で勉強したい、「成績を伸ばしたい」という意欲を持っていますが、それが十分に満たされておらず、学習指導と生徒指導の両輪がうまく回っていないようです。小学校では、授業は分かりやすいのですが、さらに成績が上がるように教えてほしいという希望が強いようです。また、「トラブル解決」についても児童は素早い対応を望んでいるのではないのでしょうか。